

修士課程

1. 履修上の注意

(1) 修了所要単位について

種 別	修了所要単位
修士論文による修了の場合	30 単位以上修得 (自専攻科目 20 単位以上含む)
リサーチペーパーによる修了の場合	34 単位以上修得 (自専攻科目 24 単位以上含む)

(2) 必修科目の履修について

- ・「国際文化研究 A・B」は必修科目であり、1 年次に履修してください。
- ・「国際文化共同研究 A・B」は必修科目であり、修士論文またはリサーチペーパーの提出予定年次に履修してください。

(3) 「修士論文演習 A・B」の履修について

- ・修士 2 年において、指導教員の担当する「修士論文演習 A・B」を履修登録してください。
- ・リサーチペーパーをもって修士論文に代える場合も「修士論文演習 A・B」を履修登録してください。

(4) 「Oral Presentation」「Thesis Writing A・B」の履修について

- ・国際文化専攻で必要とする英語運用能力習得のために履修してください。

(5) 「国際文化研究日本語論文演習 A・B・C」の履修について

- ・留学生は学位論文執筆に必要な日本語運用能力習得のために 1 年次に国際文化研究日本語論文演習 A・B を、2 年次に国際文化研究日本語論文演習 C を履修してください。

(6) 研究科共通科目「日本語論文作成 A・B」について

- ・留学生を対象とした日本語論文作成のための科目です。受講希望者は本要項の「研究科共通 日本語科目」の項を参照してください。
- ・この科目の単位を修得しても修了所要単位に含まれませんのでご注意ください。

(7) 入学時に長期履修制度を申請された方へ

入学時に長期履修申請をされた方で、何らかの理由により履修計画を短くして修了を希望される場合は、修士論文予備登録時に「長期履修計画変更申請書」を提出してください。その書類をもとに経理課より学費差額分追加徴収の納付書が送付されますので、届き次第速やかに振込んでください。

なお、申請書提出後は再度長期履修制度に戻ることはできません。履修計画の変更についてはよく検討の上、決定するようにしてください。

2. 授業科目担当者一覧

授業科目	担当教員名	単位	備 考
国際文化研究 A	廣 松 勲・ 田 島 樹里奈	2	1 年次に履修すること
国際文化研究 B	大 嶋 良 明・ 田 島 樹里奈	2	1 年次に履修すること

授業科目	担当教員名	単位	備考
国際文化共同研究 A	佐々木 一 恵・ 田 島 樹里奈	2	修士論文（リサーチペーパー） 提出予定年次に履修すること
国際文化共同研究 B	曾 士 才・ 市 岡 卓	2	修士論文（リサーチペーパー） 提出予定年次に履修すること
多言語相関論 I A	栗飯原 文 子	2	
多言語相関論 I B	栗飯原 文 子	2	
多言語相関論 II A	リービ 英 雄	2	
多言語相関論 II B	リービ 英 雄	2	
多言語相関論 III A	輿 石 哲 哉	2	
多言語相関論 III B	輿 石 哲 哉	2	
多文化相関論 I A	岩 川 ありさ	2	
多文化相関論 I B	岩 川 ありさ	2	
多文化芸術論 I	佐 藤 千登勢	2	
多文化芸術論 II	廣 松 勲	2	
異文化社会論 II A	浅 川 希洋志	2	
異文化社会論 II B	浅 川 希洋志	2	
ナショナリズム / エスニシティ論 A	中 島 成 久	2	
ナショナリズム / エスニシティ論 B	中 島 成 久	2	
マイノリティ社会論 A	曾 士 才	2	
マイノリティ社会論 B	曾 士 才	2	
多言語社会論 A	大 中 一 彌	2	
多言語社会論 B	大 中 一 彌	2	
多民族共生論 I A	松 本 悟	2	
多民族共生論 I B	松 本 悟	2	
多民族共生論 II A	高 柳 俊 男	2	
多民族共生論 II B	高 柳 俊 男	2	
国際ジャーナリズム論	神 林 毅 彦	2	
国際文化交流論 II A	木 村 真	2	
比較宗教文明論	白 杵 陽	2	
多文化情報空間論 I A	森 村 修	2	
多文化情報空間論 I B	森 村 修	2	
多文化情報メディア論 I A	大 嶋 良 明	2	
多文化情報メディア論 I B	大 嶋 良 明	2	
多文化情報メディア論 II	重 定 如 彦	2	
Thesis Writing A	ジェイソン・スミス	2	
Thesis Writing B	ジェイソン・スミス	2	
Oral Presentation	マーク・フィールド	2	
国際協力論	松 本 悟	2	
国際人権論	藤 岡 美恵子	2	
多文化情報ネットワーク論 B	和 泉 順 子	2	
国際文化研究日本語論文演習 A	浅 利 文 子	2	なるべく 1 年次に履修すること
国際文化研究日本語論文演習 B	浅 利 文 子	2	なるべく 1 年次に履修すること
国際文化研究日本語論文演習 C	浅 利 文 子	2	なるべく 2 年次に履修すること
修士論文演習 A	各専任指導教員	2	2 年次に履修すること
修士論文演習 B	各専任指導教員	2	2 年次に履修すること

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2019 年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>

博士後期課程

1. 履修上の注意

国際文化研究科では、2017年度より、博士後期課程においてコースワーク制および授業科目の単位制を導入しました。これに伴い、2017年度以降入学者と2016年度以前入学者では修了要件が異なりますので、ご注意ください。

【2017年度以降入学者】

(1) 修了所要単位

履修区分	修了所要単位
論文指導科目（必修科目）	12 単位以上修得
選択必修科目	3 単位以上修得
博士論文	
合計	15 単位以上修得

※課程修了には、上記の単位の修得のほか、博士論文審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。審査基準は別途提示します。

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

履修区分	履修年次	履修期	科目名	単位	修了所要単位	
論文指導科目 (必修科目)	1 年次	春学期	博士論文演習 I A	2	12 単位以上 (修了所要単位に含める ことができるのは 12 単 位まで)	計 15 単位 以上
		秋学期	博士論文演習 I B	2		
	2 年次	春学期	博士論文演習 II A	2		
		秋学期	博士論文演習 II B	2		
	3 年次～	春学期	博士論文演習 III A	2		
		秋学期	博士論文演習 III B	2		
選択必修科目	1 年次	春学期	博士ワークショップ I A	1	少なくともどちらか 1 科目を履修	
		秋学期	博士ワークショップ I B	1		
	2 年次	春学期	博士ワークショップ II A	1	少なくともどちらか 1 科目を履修	
		秋学期	博士ワークショップ II B	1		
	3 年次～	春学期	博士ワークショップ III A	1	少なくともどちらか 1 科目を履修	
		秋学期	博士ワークショップ III B	1		

(3) 論文指導科目の履修について

論文指導科目（博士論文演習）は、12 単位を超えて修得した単位は修了所要単位に含めることができません。また、指導教員が担当する論文指導科目のみ履修することが可能です。副指導教員その他の教員が担当する論文指導科目は履修できません。

(4) 博士ワークショップについて

① 2018 年度以前入学者

- 毎年度 1 科目以上を履修してください。
- 履修者は、履修した学期の発表会（構想発表会もしくは中間発表会）で研究計画や研究成果を発表するとともに、他の院生の発表へのコメントを文書で提出することが求められます。
- 履修者は、履修した学期の修士課程開設科目「国際文化共同研究 A」もしくは「国際文化共同研究 B」に少なくとも 5 回討議参加者（ディスカッサント）として出席し、レポートを提出することが求められます。

② 2019 年度以降入学者

- 毎年度 1 科目以上を履修してください。
- 履修者は、履修した学期の修士課程開設科目「国際文化共同研究 A」もしくは「国際文化共同研究 B」に少なくとも 5 回討議参加者（ディスカッサント）として出席し、レポートを提出することが求められます。また、履修した学期の発表会（構想発表会もしくは中間発表会）で、他の院生の発表へのコメントを文書で提出することが求められます。
- 履修者は、履修した学期の発表会で研究報告を行います。研究報告は 3 段階のステップからなり、ステップ 1（博士ワークショップ I）では「論文プロポーザル」、ステップ 2（博士ワークショップ II）では「先行研究分析報告書」、ステップ 3（博士ワークショップ III）では「博士論文を構成する章」を、事前に主指導教員ならびに副指導教員に提出し承認を得た上で発表することが求められます。

(5) 重複履修について

博士後期課程の科目は重複履修が可能ですので、標準修業年限（3 年）を超えて在学する学生は、必修科目、選択必修科目ともに、3 年次用の科目（Ⅲ A と Ⅲ B）を重複して履修してください。

(6) 修士課程設置科目の履修について

修士課程設置科目は修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

【2016 年度以前入学者】

(1) 修了要件

2017 年度以降も修了要件に変更はありません。課程修了には、3 年以上在学し、論文指導科目を 6 科目以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の申請ならびに最終試験に合格しなければなりません。審査基準は別途提示します。

(2) 論文指導科目の履修について

2016年度まで開講していた論文指導科目は、2017年度以降は開講しません。以下の表に従って履修してください。なお、2017年度より単位制を導入しますが、2016年度以前入学者については、単位数による修了要件の計算はいたしません。

例えば、1年次に「異文化関係特講ⅠA・ⅠB」を修得済みの方は、2年次に「博士論文演習ⅡA・ⅡB」、3年次に「博士論文演習ⅢA・ⅢB」を修得することによって、論文指導科目に関する修了要件を満たします。ただし、標準修業年限（3年）を超えて在学する学生は年度ごとに「博士論文演習ⅢA・ⅢB」を重複して履修してください。

履修年次	履修期	科目名
1年次	春学期	博士論文演習ⅠA
	秋学期	博士論文演習ⅠB
2年次	春学期	博士論文演習ⅡA
	秋学期	博士論文演習ⅡB
3年次	春学期	博士論文演習ⅢA
	秋学期	博士論文演習ⅢB

(3) 博士ワークショップの履修登録について

2017年度以降入学者用カリキュラムにおける「博士ワークショップ」については、2016年度以前入学者は履修登録できません。

(4) 修士課程設置科目の履修について

修士課程設置科目は修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

2. 授業科目担当者一覧

授業科目	担当教員名	単位	備考
博士論文演習ⅠA	各専任指導教員	2	
博士論文演習ⅠB	各専任指導教員	2	
博士論文演習ⅡA	各専任指導教員	2	
博士論文演習ⅡB	各専任指導教員	2	
博士論文演習ⅢA	各専任指導教員	2	
博士論文演習ⅢB	各専任指導教員	2	
博士ワークショップⅠA	佐々木 一恵・ 岩川 ありさ	1	
博士ワークショップⅠB	佐々木 一恵・ 岩川 ありさ	1	
博士ワークショップⅡA	佐々木 一恵・ 岩川 ありさ	1	
博士ワークショップⅡB	佐々木 一恵・ 岩川 ありさ	1	

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2019年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>